

9560

第三二號

保存期限

決裁指定

決行指定

注意

運輸通信

(本審案用紙八三年以内保存ノモノニ使用スルモノトス)

政務次官
參與官
回付
決裁後
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽
課名

受領番號
陸軍省
第一三六三號
起元應(課)名
陸軍大臣官房

件名

軍用電話ニ関スル件照會

次官
政務

參與官

書記官

審案
筆記者

大臣委

次官

高級
副官

主務副官
官房御用掛

主務
局長

主務
課長

主務課員

主務局長	主務課長	主務課員
高級副官	主務副官	官房御用掛
次官	參與官	書記官
大臣委		
受領番號	陸軍省	第一三六三號
起元應(課)名	陸軍大臣官房	
決行(決裁)後	回覽	課名
連帶	局長	局長
決行後	決行後	決行後
提出	昭和三十五年五月十三日	昭和三十五年六月十日
受領	昭和三十五年五月十三日	昭和三十五年六月十日
了結	昭和三十五年五月十三日	昭和三十五年六月十日
主務局長	主務課長	主務課員

官房ヨリ軍用電話交換所ヲ有ス

東京附近ノ官衙、學校、軍隊宛照會案

費部(枝隊)内ニ於ケル首題ノ件左記ニ依リ通報

相煩ハシ度照會ス

陸普第二七四三號

昭和十二年五月十三日

左記

(室)

(印)

(印)

一、各電話器設置場所ノ名稱

二、各電話器ノ主ナル利用者(職名)

三、一日ニ於ケル交換所ノ平均交換回数(發着信共)

四、軍用電話ニ関スル意見

印ノ同所ニ送ル事ト

部外秘（用済後焼却）

軍用電話設置場所

昭和十二年四月十五日

一、東 京 市 内

近衛師團司令部内各部

近衛野砲兵聯隊交換所

近衛工兵聯隊交換所

電信第一聯隊交換所

第一師團司令部副官部書記室

教育總監部 副官、宿直

警備司令部 參謀、副官、情報主任、書記室、宿直

兵器本廠交換所

東京兵器支廠交換所

航空本部交換所

航空本部監督班 班長、航空本廠立川支廠分室、監督班

憲兵司令部交換所

東京憲兵隊各分隊 淺草、深川分遣所、中野分駐所

被服本廠庶務室

三所澤及立川方面

飛行第五聯隊交換所

所澤憲兵分遣所

立川憲兵分遣所

航空本部補給部立川支部交換所

✓ 航空技術研究所交換所

✓ 所澤飛行學校交換所

✓ 航空技術學校交換所

✓ 狹山飛行場交換所

三 千葉及習志野方面

習志野演習場主管事務所

千葉聯隊區司令部

千葉陸軍病院

✓ 野重第四聯隊交換所

✓ 鐵道第一聯隊交換所

✓ 鐵道第二聯隊交換所

1940

氣球聯隊交換所

習志野陸軍病院

騎兵第二旅團司令部

野戰重砲兵第三旅團司令部

千葉兵器支廠

千葉憲兵分隊

市川憲兵分隊

下志津憲兵分隊

習志野憲兵分隊

佐倉憲兵分隊

糧秣本廠習志野倉庫

✓ 歩兵學校交換所

騎兵學校

✓ 野戰砲兵學校交換所

✓ 下志津飛行學校交換所

✓ 習志野學校交換所

備考

憲兵司令部交換所又ハ航空本部交換所ヲ經テ各所ニ通ス

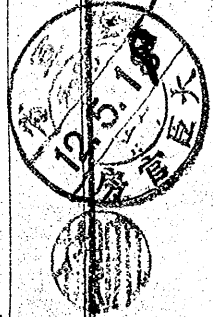
4

8920



式 第一三六三 那英一

所飛庶發第一五二號



陸軍

軍用電話ニ関スル件 回答

昭和拾貳年五月拾八日

所澤陸軍飛行學校

陸軍大臣官房御中

五月十三日陸普第 二七四三 號照會ニ係ル首題ノ件別紙
通り回答ス

式

別紙
通り回答ス

0764

立支第一三三三號共三

航空本廠經由

陸軍航空本廠
昭和十二年五月十七日



陸軍

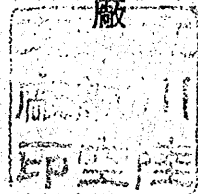
立支第二三三號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年五月十五日

立川陸軍航空支廠

陸軍大臣官房 御中



五月十三日陸普第二七四三號首題照會ニ關シ左記ノ通り回答ス

左記

- 一、各電話器設置場所ノ名稱
- 支廠電話交換所ヨリ廠内各事務室、工場、倉庫
- 二、各電話器ノ主ナル利用者（職名）
- 支廠長、各科長、各主任及事務室、工場、倉庫ノ現場掛
- 三、一日ニ於ケル交換所ノ平均交換回数（發着信共）
- 五十五回

陸軍航空本廠 陸軍大臣官房 御中

1/363

四軍用電話ニ關スル意見

(1) 支廠ヨリ所澤ニ對シ一回線増設シ且支廠―本廠間直通線ヲ特設サレ度

理由

當支廠ヨリ東京方面ニ對スル通話ハ陸軍航空技術研究所（立川）及陸軍航空技術學校（所澤）ヲ經由スルヲ以テ呼出シニ長時間ヲ要シ常ニ不便ナルノミナラス技術研究所ガ所澤ト通話中ハ當支廠ハ各方面ニ對シ通話シ得ス而モ技術研究所ノ所澤、東京方面ニ對スル通話ニハ相當ノ時間ヲ占ムルヲ常トスルヲ以テ支廠ノ不便ハ益々大ナリ

(2) 支廠―熊川倉庫ノ直通軍用電話ヲ新設サレ度

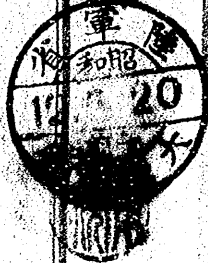
理由

現在熊川倉庫ニ對シテハ公衆電話アルモ通話迅速ヲ缺キ不便大ナルノミナラス警戒取締其他ノ上キヨリスルモ之カ新設ヲ要望ス

6
9920



式 第一三六三番共三



陸軍

航總第 六五五號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年五月十九日

陸軍航空

陸軍大臣官房 御 中



五月十三日陸普第二七四三號照會首題之件左記ノ通回答ス

左 記

- 一、各電話機設置場所黨ノ名稱 (別紙聯合平面圖註記ノ通)
- 二、各電話機ノ主ナル利用者(職名)
- 三、一日ニ於ケル交換所ノ平均交換回数(發着信共)

- 一、市内 發信 一四六
- 二、市内 着信 一〇四
- 三、市外 發信 一六六
- 四、市外 着信 一六六

三、内線相互(軍用線)通話數 二七四
四、軍用電話ニ關スル意見 ナシ

別紙
通信機保管

通信

2920

武
三十三
英

野砲校乙第六一三號

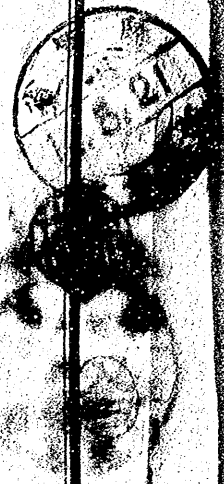
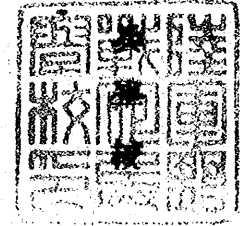
軍用電話ニ關スル件

昭和十二年五月十九日

陸軍野戰砲

陸軍大臣官房 御中

五月十三日附陸普第二七四三號ニ係ル首題ノ件別紙ノ通り回答ス



陸軍

別紙
通信
係

通信

陸軍

8920

別紙添付

貳 第一三六三 共五

兵本甲第九一號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年五月二十一日

陸軍兵器本

陸軍大臣官房 御中

五月十三日陸普第二七四三號照會ニ係ル首題ノ件別紙ノ通回答ス

追テ別紙中外線トアルハ局加入回線軍用トアルハ軍内専用電話ニ
付申添フ

12.5.21

陸軍

廠

了

通信

轉

6940

武三三三六

附録乙第一〇號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和四年五月廿四日 12.5.24

昭和四年五月廿四日

近衛野砲兵聯隊

陸軍大臣官房 紳中

五月十五日陸軍部第三文四三第ニ依リ照會係ル首
題ノ件左記通回答ス

左記

一各電話器設置場所並ニ名稱

別紙通

二各電話器ノ主ナル利用者

聯隊副官 聯隊書記 兵器經理士等

三一日ニ於ケル交換所ノ平均交換回数

二十回 (發着信共)

四軍用電話ニ關スル意見

回線圖ヲ調製配付セラル度(各電話位置ニ貼付傳心部數)

別紙通信科
係長

3

0270

通信

式第一三三三

鐵道第四號



陸軍

軍用電話ニ関スル件 回答

昭和拾貳年五月廿貳日

鐵道 第二 聊

陸軍大臣官房御中

五月十三日附陸普第ニ七四三號照會ニ基ク首題ノ件
別紙ノ通田答ス



別紙
通信
簿

式 一三六三

野重四甲第四七



陸軍

軍用電話ニ關スル件通報

昭和十二年五月廿四日

陸軍省大臣官房 御中

昭和十二年五月十三日陸普第二七四三號ニ依ル首題ノ件
左記ノ通り通報ス

左記

- 一各電話器設置場所室ノ名稱
- 聯隊長室、聯隊本部事務室、大隊本部事務室、
- 經理室、醫務室、獸醫室、兵器委員事務室、縫
- 靴工場事務室、酒保賣品室、炊事事務室、通信當
- 番室、週番司令室、衛兵所、將校集會所當番室、第
- 一中隊事務室、第二中隊事務室、第四中隊事務室、
- 第五中隊事務室。

二、各電話器ノ主ナル利用者（職名）

聯隊副官、書記、中隊附下士官以上、委員及全助手、將校、集會所當番長、經理及兵器委員、全助手、各部下士官以上、衛兵司令

三、一日ニ於ケル交換所ノ平均交換回数（發着信共）
約二百十回（休日約九十回）

四、軍用電話ニ關スル意見

軍用電話ハ隊内ノ事務簡捷上又兵力並經費節約ノ爲
利スル處甚大ナリ又隊外トノ電話ハ當隊ノ如ク師團司令
令部並關係諸隊ト離隔セル部隊ニ在リテハ軍用
電話ハ必要欠クヘカラサルモノナリ現在當隊ニ在リ
テハ在京各部隊トハ憲兵司令部ヲ經由シテ遠ナ
ル經路ヲ以テ通話シ得ル狀況ニシテ旅團並砲兵各部
隊トノ通話ハ不明瞭ニシテ然モ時間ヲ要スルヲ以テ

尤ノ如ク通詰回路ヲ新設セラシ度

陸軍

四街道

千葉

近衛師團司令部

砲兵旅團司令部

各砲兵聯隊

各歩兵聯隊

得シナ

閱

通信

三林

0774

武 第一三六三九

近工乙發第三五一號

軍用電話ニ關スル件一回答

昭和拾貳年五月廿四日

陸軍大臣官房御中

近衛工兵聯

五月十三日陸普第二七四三號ニ依ル首題ノ
件一別紙ノ通一回答ス



軍



第一三三三六六

憲庶第四六八號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年五月二十五日

憲兵司令

陸軍省大臣官房 御中

昭和十二年五月十三日陸普第二七四三號ヲ以テ照會ニ保ル首題ノ件
左記ノ通りニ付回答ス

左記

一 各電話器設置場所室ノ名稱

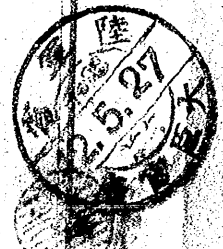
別紙ノ如シ

二 各電話器ノ主ナル利用者（職名）

別紙ノ通り

三 一日ニ於ケル交換所ノ平均交換回數（發着信共）

發信 八三〇 着信 八三〇



陸軍

2. 1363

四 軍用電話ニ關スル意見

現下ノ社會狀勢ハ軍事警察務上急ヲ要スルモノ或ハ秘密ニ屬スルモノ多ク軍用電話ノ利用頗ル多キニ拘ラス之カ通話範圍ハ在京陸軍ノ一部官衙部隊ニ過キサル爲他ハ公衆電話ニ依ラサルヘカラサルモ豫算ノ關係ト秘密保持ヲ考慮セハ之カ利用ハ努メテ避ケサルヘカラサルノ狀況ニアリ特ニ二、二六事件ノ如キ一朝有事ニ際シテハ秘密保持上軍用電話ノ必要ヲ痛感ス然ルニ現在ニ於ケル當部軍用電話ノ通話範圍ハ前述ノ如ク狭少ナルヲ以テ此ノ際軍用電話ノ架設ナキ在京陸軍官衙學校軍隊ニ對シ通話網ヲ擴充スルコトハ軍事警察務執行及秘密保持上ヨリ必要ナリト思料ス

(丁)

(日本標準規格 B-1)

至白
リ
五
二



4440

陸軍航空技術学校
第一三六三號

技校經第一三四號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年五月二十八日

陸軍航空技術學校

陸軍大臣官房 御 中

昭和十二年五月十三日陸普第二七四三號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件
別紙ノ通回答ス

以下五葉別紙通信掛係信



陸軍



8220

貳 第一三六三番

近衛師團司令部

第一第

6.1
2.5.26

近衛師團昭和三年五月三十日
由近衛師團司令部

軍

軍用電話ニ関スル照會ノ件回答

昭和拾貳年五月廿貳日

鐵道第一聯隊

陸軍大臣官房御中

昭和十二年五月十三日陸普第二七四三號ニヨリ
照會ノ件別紙ノ通り回答ス

6440



陸軍大臣官房
御中

歩兵 甲發第一六五號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年六月一日

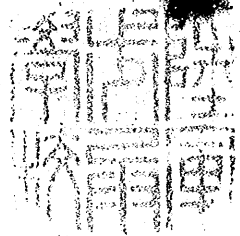
陸軍歩兵學校

陸軍大臣官房 御中

五月十三日附陸普第二七四三號照會ニ依ル首題ノ件別紙ノ通回答ス



陸軍



(日本標準規格 B-5)

0840

通信

式 一三三三 共一

電 第 書 號

12.6.2

陸

軍

軍

軍用電話ニ関スル件回答

昭和拾貳年五月卅壹日

電信第一聯

陸軍大臣官房御中

五月十三日陸普第ニ七四三號照會ニ係ル首題ノ件別紙ノ通回答ス

0781

通信

陸軍大臣官房御中

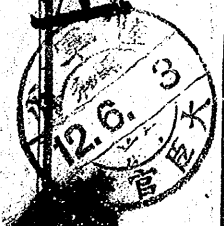
軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年六月一日

陸軍習志野學

陸軍大臣官房御中

陸普第二七四三號照會ニ依ル首題ノ件別紙ノ通回答ス



陸

軍

0782



閉

式 第一三三三番 六一六

下米校庶第三〇二號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年六月三日

下志津陸軍飛行學校

陸軍大臣官房 御 中



五月十三日附陸普第二七四三號ヲ以テ照會セラレタル首題ノ件別紙ノ通回答ス

別紙通信掛保管



陸 軍

0783



航空本部經由

貳

陸軍航空部
昭和十二年六月三日

陸軍航空部
昭和十二年六月三日



陸軍

航技甲第六五六號

軍用電話ニ關スル件回答

昭和十二年六月三日

陸軍航空技術研究所

陸軍大臣官房 御 中

首題ノ件別紙ノ通回答ス

別紙通信掛保管



日本標準規格 B-5

0784

式 一三三三

飛五 陸軍第四六號

軍用電話ニ関スル件回答

昭和拾貳年六月九日

飛行第五聯隊

陸軍大臣官房御中

軍用電話ニ関シ五月十三日附陸普第
二七四三號照會ノ件別紙ノ通りニツ
キ回答ス

別紙通信掛保管



陸軍

日本標準規格 B-5

閱



0785

式
三六三
一九

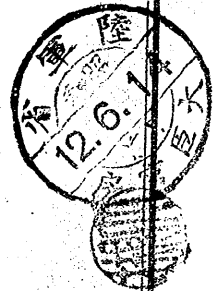
東支庶第二九八號

軍用電話ニ關スル件回答

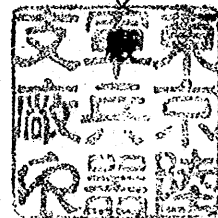
昭和十二年六月十一日

陸軍大臣官房 御中

五月十三日附陸普第二七四三號ニ基ク首題ノ件別紙ノ通回答ス



東京陸軍兵器支



陸軍

別紙通信掛傳管